

2025年9月27日

厚生労働省 第2回ろうきょうオンラインセミナー

労働者協同組合ワーカーズコレクティブデポット
～みんなでたすけあう多様な働き方～



労働者協同組合ワーカーズコレクティブデポット
理事長 副島 里恵

実は日本で初めて、 ワーカース・コレクティブが誕生したのが デポット ✨！！

- ・ワーカースコレクティブの源流は19世紀
- ・思想も運動もフランスで発展し、ヨーロッパ、アメリカへと広がり発達した
- ・日本では、1982年に生活クラブ神奈川のデポー開設を契機にすすき野に「W.Coにんじん(人々)」を設立。

業務委託請負事業、軽食・喫茶事業を開始

翌年以降、弁当、惣菜事業の事業展開を図ったのが始まり

テポット設立趣意書より一部抜粋

私たちワーカーズコレクティブがテポーを組合員と共につくり続けてきたのは、おおぜいの私が自己を表現する場であり、社会に向けて発信する自治と民主主義の拠点、社会的装置であると捉えるからです。テポーは、私たちワーカーズコレクティブのフィールドであり、おおぜいの組合員のフィールドでもあり、地域住民のフィールドでもあります。テポーでの人との出会い、地域でのつながりを通して、働くことをもって豊かな地域社会づくりをめざしていきます。

労働者協同組合ワーカーズコレクティブデポット 事業の歴史

- 1982年 すすき野デポのW.Co「にんじん」からスタート
- 1986年 運営委員会制スタート、マネージャー制スタート
- 1989年 パートナシップ協約締結
- 1995年 W.Co「にんじん」から独立し、17デポ毎に独立したW.Coとなる
- 2008年 19デポ委託・請負W.Coを統合し、「W.Coデポット」を設立
- 2015年 ひらつかデポがオープン、22デポで委託請負
- 2016年 生活クラブ神奈川組織政策転換、日曜開所へ(8デポ) ※2025年度は12デポになった
- 2018年 マネージャー業務の組合員事務局業務廃止、物流責任者廃止、鮮魚日週3回から週2回へ
- 2019年 デポ存続点検9デポ 各デポごとの経営自立を目指す
- 2020年 新型コロナウイルス感染緊急事態宣言
 - 閉所時間18:30、入場制限、マスク、消毒等
 - 70歳定年制、65歳リーダー交代
- 2021年 「労働者協同組合法」法人格取得に向けて5月より理事会などで討議開始 セミセルフレジ導入
- 2022年 10月「労働者協同組合法」が施行され、私たちの働き方に一番近い法人格を取得する下地が整う
 - 作業日報をデータ化
- 2023年 6月1日、「労働者協同組合ワーカーズコレクティブデポット」を設立
- 2024年 特定労働者協同組合の認定 第6次3か年(2025～2027年度)プロジェクト

生活クラブ生協のデポ（店舗） 業務委託事業をおこなっています



神奈川県内に22デポ



地域社会や他の団体と協力し
ながら活動しています

■ 事業高	626,878,736円（2024年度）
■ 出資金在高	7,300,000円(2025年3月末現在)
■ メンバー数	373名(2025年3月)

デパートワークカーズの業務

組合員とワークカーズ
共同運営

フロア業務

発注(生鮮品:青果・肉・日配・魚介)
入荷検品、品出し、
陳列、補充、
消費材の利用を促す、
在庫管理、品質管理
供給高(売上高)の目標の達成、
必要経費の確保

組合員対応、レジ対応
問合せ対応
拡大・経済共済推進



神奈川には **22** のデポーがあります



※デポー = 店舗のこと
※フランチ = 22のデポットワーカーズ組織のこと(支店のようなもの)

22フランチの会議

**月に1回の
デポット理事会**

**年に1回の
デポット総会**



意見反映

自分たちのことは何でも話し合って決める！

**月に2回 全員参加
各フランチでの会議**

①組織物流会議

②フランチミーティング

**民主的な運営を広げる
新人もベテランも同じ1票**



**フランチミーティングで
話し合う事**

**メンバー募集状況と対策、
ローテーション調整、
分配金、
労働時間計画、点検、改善策、
内部研修、育成、
自分たちのちょっとした困りごと、
働き方など変えていきたいこと、
など**

「テポット理事会」での議論

月1回、22フランキのテポット理事が集まります

<主なテーマ>

組織報告、事業報告、委託契約、予算、決算、メンバー募集について、
労働時間・作業日報点検、有給休暇、テポット全体研修、
安全強化月間実施報告について、テポット部会報告
機関紙、共済委託関連、フランキからの提案、
(一社)つながるかながわ関連報告など。

一人一人がテポットの事
業主ですから、フランキ
のことだけでなくテポット
全体のことも
主体的に考えます！



ワーカーズコレクティブの働き方の特徴

- ① W.Coは 働く人の協同組合
- ② 地域に必要なものを生み出すための「働く場」
- ③ 自主運営・自主管理が基本(1人1票)
- ④ 参加型民主主義に基づく組織運営
- ⑤ 労働の在り方も自分たちで決める
- ⑥ メンバーで「共育」の関係を持ち かわいあうことで成長する組織
- ⑦ お金を得るだけではない社会貢献もしたい

働くことで、やりがい生まれ
生きることに繋がります！



2023年6月1日

「労働者協同組合」の法人格を取得！

★出資

★意見反映

★自らが従事する

ワーカーズコレクティブの基本と同じ

2024年4月1日

「特定労働者協同組合」認定

課題として

- ・労働者性が強いこと
- ・労働基準法の遵守
- ・労働契約を締結する

協同組合の理念

おおぜいの私
一人では解決できない
ことを仲間と一緒に
取組み解決する

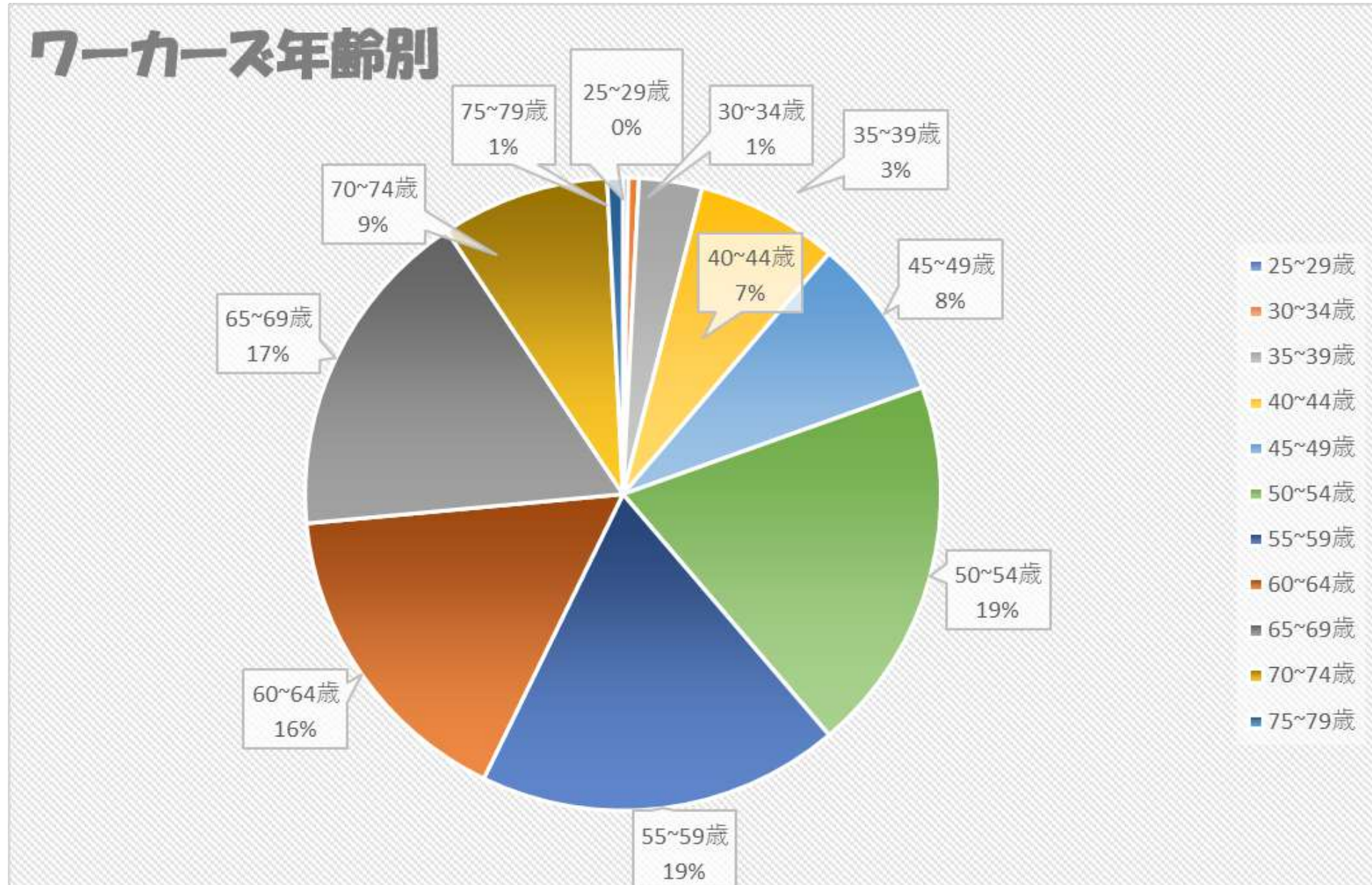
人任せにしないで、自
分で考え、自分で行動
する

組合員の消費する力をおおぜ
い集めて社会的な「発信力」
を高め、社会を変える

協同組合地域社会の建
設をすすめていくこと

①年代構成が多様 メンバー数374名

2025.4月現在



②多様な働き方で支え合う



社会保険加入メンバー
130名中心

子供がまだ小さい



他のメンバーも子育て中の人や子育て経験者ばかりで、「子供の帰宅を家で出迎えたい」という私の思いもよく理解してくれます。子育てに合わせながら仕事の量も調整し、自分がやってきたことを活かしながら好きな仕事ができる

シングルマザー

たくさん働きたいことを、メンバーに理解してもらってます。子供に何かあった時いつでも駆けつけられる距離にいますので、安心して働けます。

子育て支援金が毎月1000円支給されるのは大変ありがたいし、助かっています。子どもや家族に理解が得られる働き方をしたい

親の介護をしています



★親の介護をするために休みを取って実家に帰っています。メンバーは、快くいってらっしゃいと送り出してくれて感謝です。
★今は夜のシフトも入れないけど、メンバーが理解してくれています

Wワークしています



- ・自分のライフスタイルに合っている。
- ・収入増加で生活費や貯金の足しになった。
- ・本業以外での人脈ができた。
- ・時間管理が難しい。

シニア層の短時間勤務

子育てが落ち着き少し暇が出来て、短時間で働ける



お互いさま・おもいやりの心をみんなで持つ



- ▶ 本人・家族がケガ・病氣入院、子供の学校行事等
- ▶ 介護で大変になり、遠方に帰るメンバーが1週間ほど休むことになったが、みんなでたすけあって乗り越えた。
- ▶ 雪が降って、自宅が遠いメンバーが朝の出勤が厳しいときは、テポーに近いメンバーが出勤。
- ▶ 産前産後休業・育児休業を使い休職し、復帰した。
- ▶ リフレッシュ休暇で、旅行に行った。

③多様な働き方

W.Co協会を通じ就労支援の受け入れを実施

地域の拠点として社会の問題解決につなげていきます

その方に合わせた実習内容を実施

デポで自信をつけて地域に
羽ばたいていく方もいます

実習前には3者(本人・デポット理事・W.Co協会の担当者)または4者(+若者サポート担当者)で打合せをおこなう

アルバイトを経てデポットワーカーズになる方もいます

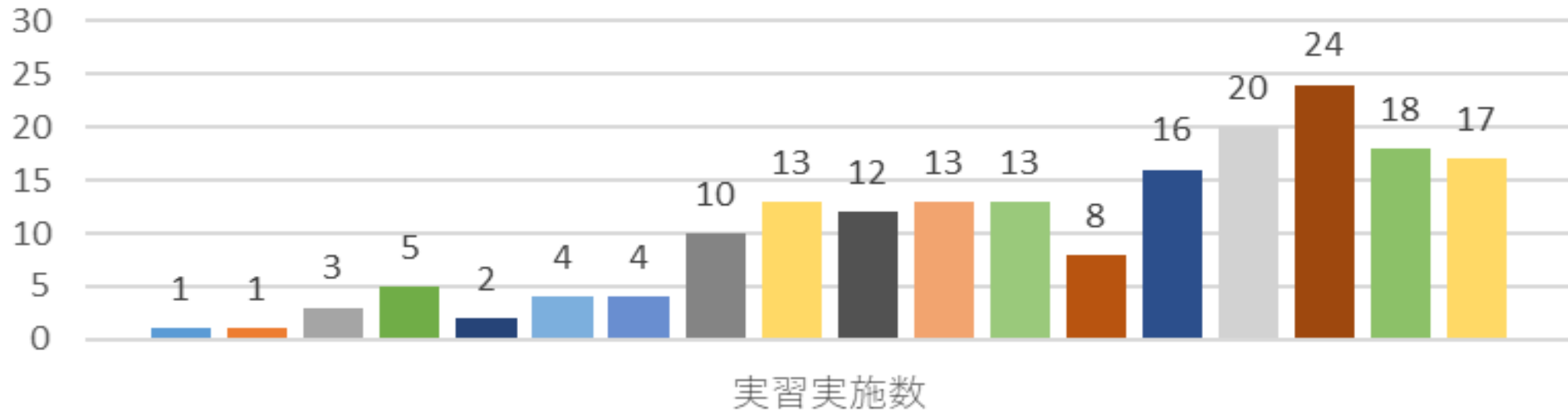
生活クラブ鮮魚職員からの研修を積み重ね、鮮魚担当ワーカーズとして他デポに支援に入っている方もいます

実習受け入れは21フランチに広がりました ✨

特定非営利法人 ワーカーズコレクティブ協会

- ・地域の生活者が抱える問題を解決するために、市民が非営利事業を起業することを支援し、同時に、協同労働を推進する組織。
- ・特に働くことに困難を抱える人（障害者、ホームレス、シングルマザー、ニート、引きこもり、依存症者、等）を応援し、社会的排除を防ぐことを目的としています。
- ・ワーカーズ・コレクティブの働き方は社会的に排除される人達の働き場として有効であり、働く意欲があれば参加でき、上下関係が無くお互いを尊重し合うため人を育てる大きな力を持っています。たくさん稼げなくても、自分を認めてくれる働き場がどれだけ人を変えるか、生き活きとさせるか、私たちはそんな働き場づくりをめざしています。

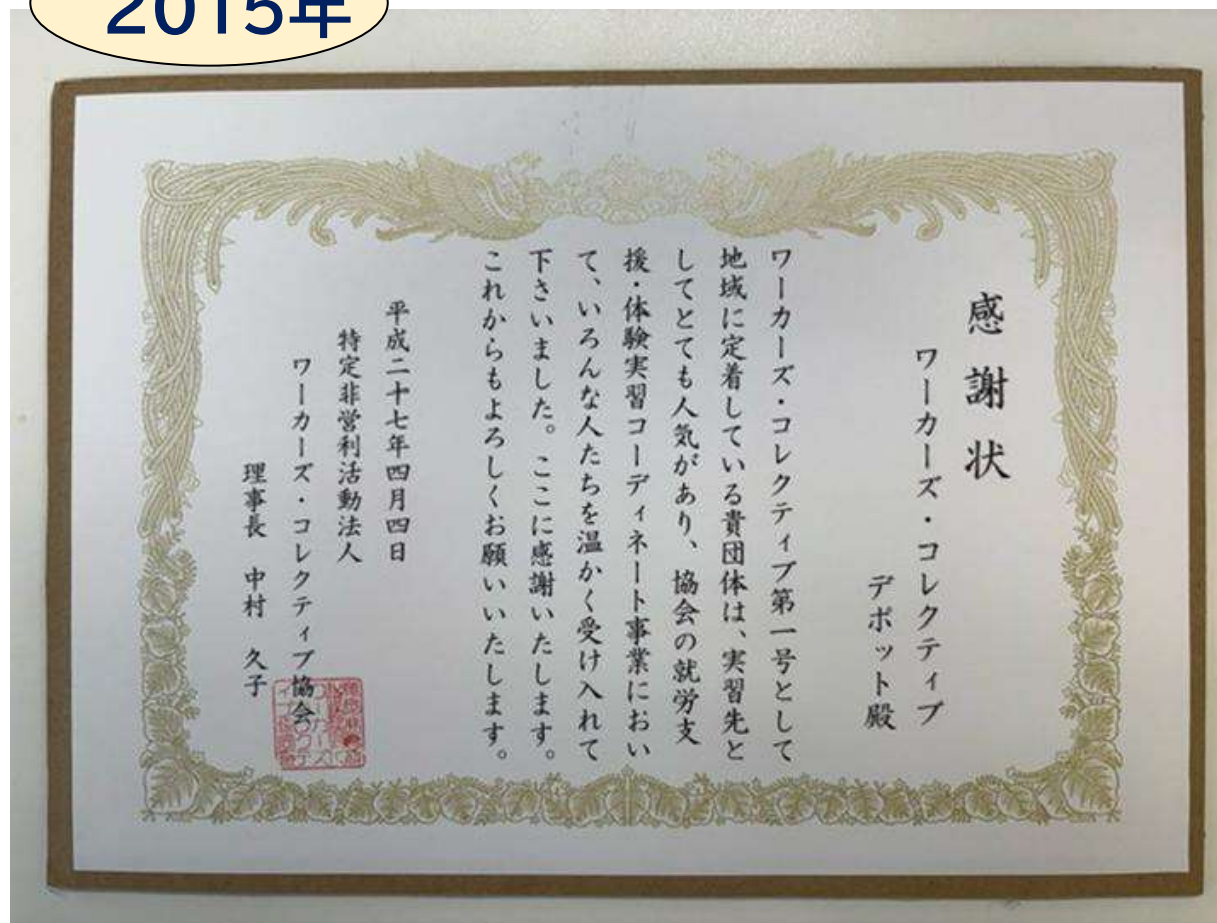
就労支援実習実施数



2007年から2025年8月まで、総合計184名の実習を受け入れました！

W.Co協会から表彰されました！ 🏆

2015年



2017年



就労支援からワーカーズになったメンバーの声

SデポーFさん

うまくさばけなかった魚を上手に早くさばけるようになったり、出来なかったことがだんだん出来るようになり、出来ることも増えた。他のデポーに行ってみて勉強したい。収入を増やしていきたい。
社会復帰が目標だったので、現在それは出来たと思っています。

SデポーUさん

日々覚えていく全てのことがやりがいに変わっていってます。その分自分の力不足と経験の少なさからうまく対応できず悩みながら少しずつですが前進していく毎日です。
これからどうなりたいか、自分にどこまで出来るのかは今現在積み重ねている理想の未来への架け橋だと信じてこれからも全力をつくしたいと思っています。

HデポーOさん

長い間働けていなかったのに、ワーカーズになって働けるのが幸せです。働くとは規則正しい生活になったり、外出することも出来て今のところ良いことづくめです。
いちばん大変だったのは働き始めたときで、体力もなかったし休むことも多かったです。今でも大変な時はその時を思い出して「最初のころの辛さと比べれば大変じゃない」と言い聞かせています。生活保護を抜けたことは、凄いことだと思います。これからの就労支援の方には、休んでも遅れても辞めずに来てほしい。そうすれば、休むことなく働けるようになると思います。

OデポーIさん

発注が過不足なく行えていた時や、消費材について組合員からポジティブな感想をもらった時にやりがいを感じます。

SデポーYさん

ワーカーズになってから経験を積んで、少し自信に繋がりました。もっと出来ることを増やしていきたいです。

「組合員とワーカーズによる共同運営」を続けてきたからこそ
テポーの今日があり、これからもそのことが一番の力！！
テポーは、**人、仲間が財産。**

単なる物を買うだけの店舗ではなく、みんなで運営する場所、地域の拠点、
生活文化の拠点、働くことの拠点、地域の様々な活動とネットワークを結ぶこ
とで情報が集まるし発信できる。やってみたい人が集まり、参加する人の発想
でテポーの活用を進める、テポーとコモンズ(班・個配)の共有できる地域のコ
ミュニティの拠点。**「私もワーカーズ・コレクティブをやってみたい」**と

いう人をつくる(W.Co運動)

**多様な人々が自分らしく生き、心豊かに暮らせる地域
社会を作っていこう！！**

ご清聴ありがとうございます

ございました

